

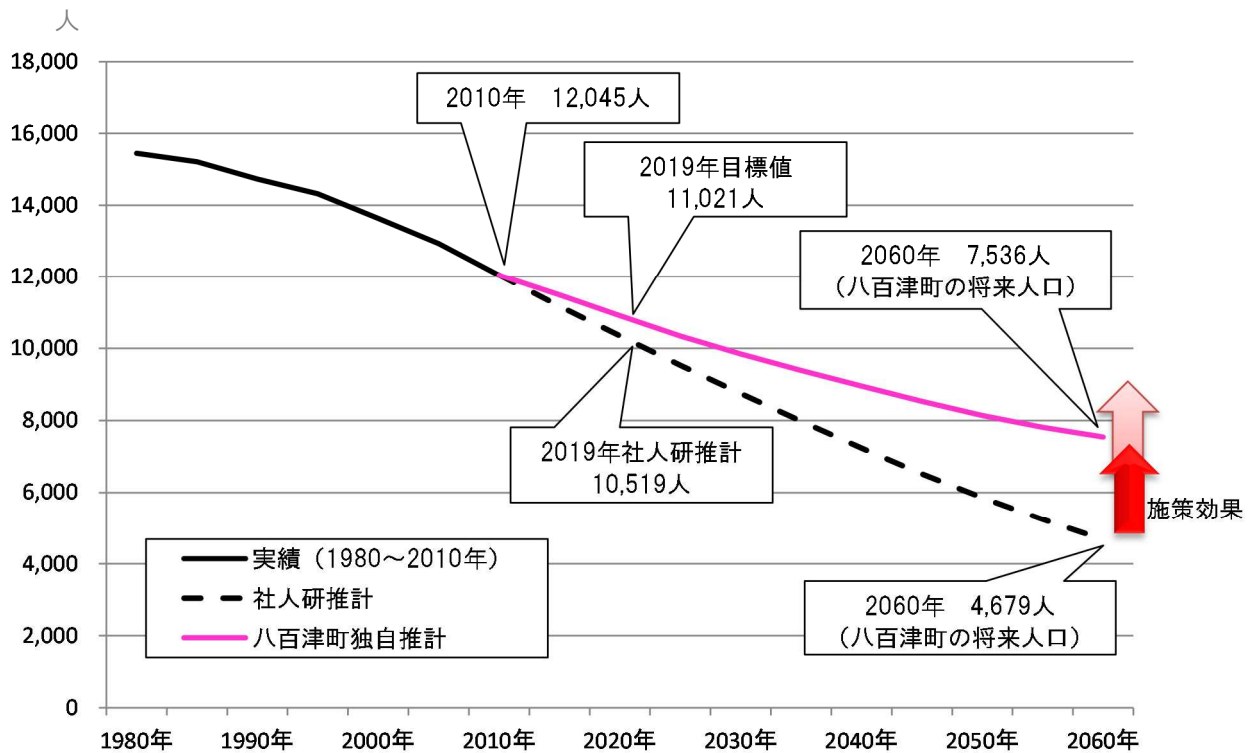
第2章 基本目標

1. 八百津町人口ビジョンを達成するための基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「長期ビジョン」を踏まえ、4つの基本目標（基本目標1：地方における安定した雇用を創出する。基本目標2：地方への新しいひとの流れをつくる。基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。基本目標4：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。）を設定しています。「八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、国の基本目標を勘案し、八百津町人口ビジョンの目標人口を達成するために、本町の実情に合わせた基本目標を設定します。

八百津町の「長期ビジョン」が示す中長期展望

- 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））によると、2060年の八百津町総人口は約4,700人まで減少すると見通されています。
- 仮に、合計特殊出生率が2030年に1.80程度、2040年に2.07程度（2020年には1.54程度）まで上昇すると、2060年の人口は約7,500人となります。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位（死亡中位））及び独自推計

「八百津町人口ビジョン」が示す中長期展望

① ともに働く環境を整備し、人口減少に歯止めをかける

高齢者の働く環境を整備することで、生産年齢人口の増加を目指し、町の持つ魅力にさらなる磨きをかけていく。新しい仕事、地域が求める仕事を創出しながら、次の世代へとつなげていく。

② 人口減少に対応した若い世代の仕事・雇用、子育て、教育を支援する生活環境の整備

人口減少を克服し、将来にわたり安定した人口を維持していくため、社会移動（転入・転出）を均衡させるとともに、切れ目のない支援により、町民が安心して働き、若者が希望どおり結婚し、妊娠、出産、子育てができる社会環境を実現する。

③ 安全・安心な暮らしやすいまちづくり

人口減少・少子高齢社会を迎える中、活力あるまちであり続けるため、地域が直面する課題を解決し、町民が将来にわたって安全・安心で、健康的に暮らしやすいまちを実現する。

八百津町の特徴（強み）と課題（弱み）

特徴（強み）

木曾川の清流と豊かな自然に恵まれ、農業をはじめ、工業・商業の振興により発展し、数多くの魅力ある観光資源を有する文化都市が形成されている。

課題（弱み）

少子高齢化の波は八百津町でも例外ではなく、農林業などの後継者問題、若者が移住・定住するための“しごと”（創業支援）や、空き家・空き店舗の課題がある。

2. 4つの「基本目標」

「八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、本町の実情に合わせて基本目標を次のように設定します。

八百津町の基本目標

<基本目標1> 八百津に呼び込む

自然環境と文化・伝統を活かした魅力あふれる やおつ

<基本目標2> しごとをつくる

地域産業の向上による活発で活力ある やおつ

<基本目標3> 人を育む

子育て世代に選ばれる やおつ

<基本目標4> 安心をつくり・まちをつなぐ

確かな暮らしを実現する安心・安全な やおつ